

# 認定看護師CN NEWS Vol.13

## ～感染管理認定看護師編～

感染管理認定看護師必須！感染管理7つのプログラムをご紹介します

### ①感染管理システムの構築

・自施設での効率的な感染策管理システムの構築を提案します。

### ②医療関連感染サーベイランス

・疫学的知識に基づいたサーベイランスの実施・分析・評価をし、PDCAサイクルを上手くまわしアウトカムの改善につなげます。  
・耐性菌, CAUTI, CLABSI, 血液培養他

### ③感染防止教育

・自施設で働く医療従事者全てに対して、ニーズに応じた感染管理教育の実施及び評価をします。

### ④感染管理に関する基準又はマニュアル作成

・自施設での効果的な感染防止技術の実施及び評価をします。  
・マニュアルの改訂や感染管理ベストプラクティスの作成

### ⑤職業感染防止対策

・自施設で働く医療従事者すべてが、安心して勤務できる職業感染管理対策の提案します。  
・流行性ウイルス性疾患の抗体価把握とワクチン接種等

### ⑥コンサルテーション

・依頼者の問題解決のリソースとなるよう支援します。  
・感染管理上の組織での課題を見出した場合は組織的な改善を行います。

### ⑦ファシリティーマネジメントと洗浄・消毒・滅菌管理

・ファシリティ部門との連携を深め、感染管理における患者様の安全で衛生的な環境の提供へつなげる提案をします。

日本看護協会では、感染予防・管理のできる専門的な知識や高度な技術を用いて実践・指導・相談の役割を果たす看護師を「感染管理認定看護師」としています。



三宅 智津恵



手嶋 純子

感染対策に関する事は何でもご相談下さい

### ～感染管理のお仕事の一部をお見せします～

①発生リスク②患者・訪問者・従業員へのリスク  
③組織的対策の必要性 ④準備状況4項目を点数化し毎年7つのプログラムに沿って対策を講じます。

**現在は標準予防策の遵守が急務の課題です！**

2015年度は全23項目に対しPDCAサイクルをまわしています。



2015年度立案 リスクイベント	スコア
マーズコロナウイルス等、海外で発生している病原体が持ち込まれれば院内で2次感染の恐れあり	14
医療関連感染症の発生や耐性菌の蔓延	13
針刺し・切創・ウイルス感染	13
職員や患者への結核の二次感染	12
各部門で独自の感染管理のルールがあり、機能評価の更新を怠らす	11
尿道留置カテーテル関連感染	11
ICTのメンバー交代による医療関連感染の増加リスク	10
感染症治療前の適切な培養提出不備による、新たな薬剤耐性菌を生み出す可能性	10
ゴーグル着用不備にて血液の眼球飛散による職業感染	9
抗菌薬の乱用とICTの体制不備のため感染防止対策加算1の継続が困難となる可能性	9

### 院内の感染対策組織図

院内感染対策委員会

ICC

感染制御部門

ICT感染対策チーム

ICTリンクスタッフ会  
ICTLS・ICTLN

日本環境感染学会で発表しました♪

